Kinki Welfare University　近畿福祉大学後援会報

ともに生きる

No. 8

ご　挨　拶

後援会長
石　田　　宏

後援会会員の皆様におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

21 世紀には安定し希望に満ちた世界が到来すると予想しておりましたが、日本においては、長引くデフレや景気の低迷、国外に目を転じても世界経済全体にも影響しかねない争いが絶えず、不幸な歴史が繰り返されております。そのような時に、会員の皆様方のご推挙を受けまして平成 16 年度の会長を仰せつかることとなりましたが、浅学非才の身にこの大役をまっとうできるかという心配と不安で、身の引き締まる思いがいたします。

近畿福祉大学後援会は、大学と連携し、学生の皆さんがより充実した学生生活を送る事が出来るように学生生活をさまざまな側面から支援し、大学の一層の発展に寄与することを目的として活動しております。

今日の社会情勢は、学生の就職活動にとって大変厳しいものがあります。後援会としても学生の皆さんの就職活動に少しでも有利になるよう資格等の取得支援に力を入れる予定です。

福祉には、何々できる、できた、という技術や知識オンリーだけでなく、技術や知識を行使する人の人間性も大切であると聞いたことがあります。

つまり、自分自身が、人間性を強く意識し、人のために自分がどう感じ、どう行動するかが必要なのではないでしょうか。ご子息である学生の皆さんに、福祉の担い手となる自分を意識して、積極的に学内外の活動に取り組み、人間性を磨いてほしいと願っています。

また、資格を取得された学生の皆さんが卒業後、社会で大いに活躍され、福祉・研究以外の面でも、大いに近畿福祉大学の評価を高めて下さることを希望しています。

近年の少子化などにより、大学を取り巻く環境はますます厳しくなる中で、後援会の役割も更に重要になると考え、今後も学生の目線に立ち有意義な学生生活を送るための「支援」や「助成」を継続したいと考えております。また、後援会は何を行うべきか、後援会にしかできないことは何かを常に念頭におきながら、大学と連携をより深め、大学の更なる発展、充実に努力していきたいと思っております。

今まで以上に、学生・教職員・保護者、そして卒業生を含めた近畿福祉大学のすべての関係者に大学の様々な営みに係わって頂きますようにお願い申しあげます。

第 1 回学位記授与式　　平成 16 年 3 月 15 日

大学の完成から 今後の発展へ向けて

学　長
大　羽　　蓁

後援会の皆様、今年は特別に暑い夏のように思われますが、お変わりございませんか。大学は３月に、第１回の卒業式学位記授与式を挙行することができ、４月には新たに第５期の新入生を迎えることができまして、日々活気にあふれております。

すでにお知らせをしたことがあるかもしれませんが、４学年が全部そろって大学は完成ということになりますので、前年には文部科学省の最終実地審査を受けました。大学設置審議会の高名な２人の委員からは、「大変よろしい」という御講評をいただきました。そして、「この上は、１期生の就職と国家試験について、よい成果を上げて下さい」と要望されておりました。

以来、この２つの要望を念頭に、教職員は考え得る限りの努力を重ね、就職についてはほぼ100％、国家試験については95名の合格者を出すことができました。これは全国142校のうち、16番目ということで、他校は既卒者も含めての数であるのに対し、本学は新卒者のみの人数ですので、相当良い成績といえます。私達はこれまでの教育指導に対して、ある程度の自信を持つことができました。引きつづきこの経験を生かしながら、更に努力を重ねているところでございます。

去る６月19日（土）と20日（日）には、第11回白鷺杯争奪　姫友戦を本学が主催しました。もともと姫路にある２大学、姫路工業大学（現・兵庫県立大学）と姫路獨協大学の間でさまざまなスポーツの対抗試合をしていたものですが、第８回から関西福祉大学と本学が加わり４校の間で競われるようになり、昨年は本学の学生諸君の健闘の結果、優勝杯を本学に持ち帰っておりました。

今年は、獨協大学が１位、そして本学と県立大学が同率２位ということでした。開催校として、学生部教職員の支援のもと学生諸君は大変熱心に取組んでくれまして、盛会裡に終えることができました。私は開学以来、学生諸君に対し、「体をきたえることは人類がギリシアの昔から努めてきたことで、大学生活の大切な部分ですよ」と言っておりますが、このように学生諸君は勉学とともにスポーツを愛し、元気に励んでおります。

最初にふれました今春の第１回卒業式学位記授与式において、私は次のようなことを述べました。「…多くのスポーツは、パスによってつながっています。それと類似して、人の社会生活や人と人の間でも、いろいろな有形無形のパスによって人間らしいつながりが成立します。私は昔サッカーの選手で、絶妙のパスを送る名手でしたが、私を含め教職員は皆さんへ向かって有効なパスを送り続けますから、皆さんは元気一杯、社会生活におけるゴールに向って走り、シュートを決めてください」。

今後、在学生に対しまして、勉学の面でもこのような気持で、私達の近畿福祉大学の教育をさらに高める努力を続けますので、あらためて保護者の皆様の御支援をお願いし、今年度最初のごあいさつと致します。

(04．7．9)

平成16年度の社会福祉士国家試験対策について

社会福祉学科長
安　井　秀　作

本学では、本年1月25日に実施された社会福祉士国家試験へ初めて学生が挑戦し、全学科あわせて95名が合格しました。社会福祉士養成施設は全国で142ありますが、合格数でみれば、上から16番目に位置します。他大学は、過年度卒業者を含む実績ですから、これが含まれていない本学の結果は、十分に誇り得るものと考えています。また、就職に関しても、99.2パーセントの実績をあげることが出来たのも、第一期生の国試への努力が報われたものと言えましょう。

来年の国家試験は、平成17年1月23日（日）と決定され、本年4月から、すでに国試に向けたプログラムが始動しています。今年度は、昨年の国試合格者からのアンケート結果を踏まえて、全面的な見直しを行い、通常の授業と受験対策講座を連携させた新たなプログラムが展開されています。具体的には、4年次開講の社会福祉学基礎演習を受験対策講座の一環として位置づけ、学内教員による指導にあわせて、受験生から好評であった（株）東京リーガルマインド（LEC）の社会福祉士合格講座（共通8科目）が実施されます。あわせて、全国模試を活用して、実力確認テストが実施され、その結果を基礎として、個別指導が展開されます。さらに、夏休みは、自学自習への動機付けを高めるための重要な時期であることから、LEC合格講座（専門5科目）が実施されます。

以上は、基礎確認講座として位置づけられるものですが、10月からは、実力養成に向けた新たな段階に入ります。具体的には、社会福祉学特別演習として、LEC問題演習合格講座及び直前講座が実施されます。そして、来年1月には、最終段階の総仕上げと確認のための講座が実施されます。この間、概ね月に一回は、模擬試験が実施され、学生が自分がどこまでのレベルに到達できたかを確認することが出来ます。

このようにLECの社会福祉講座がそれぞれの段階で用いられますが、この講座は、学内教員によるフォローアップ授業と必ずセットされており、それぞれの特徴を生かし、より総合的な学習が行われるように支援しています。また、学生の自学自習を支援するため、LECのビデオ教材に関しては、随時リピート学習ができるようにすると共に、各種の受験雑誌などを備えた自学自習室を確保し、関係の教員が質問などに答えられるような体制も整備されます。さらに、過年度卒業生であって、再度国家試験にチャレンジする学生に関しては、以上のプログラムを可能な限り受けられるようにし、受験に向けての支援が行われます。

4月から、国試受験に至るまでの段階的・体系的・継続的な受験指導プログラムは、他大学に勝るとも劣るものではないと考えています。しかし、当然のことですが、一番大切なのは、一人一人の学生がどれだけ、受験対策に時間を投入するかにかかっています。保護者の皆様におかれましても、ご子息、ご息女様が受験勉強に専念できるようにご配慮いただきますよう、切にお願い申し上げる次第です。

平成16年度　後援会役員

役職	保護者氏名	学科名
会長	石田　宏	社会福祉
副会長	平子智子	介護福祉
監査	山田健一郎	社会福祉
監査	奥藤昌巳	介護福祉
委員	田中雅弘	福祉産業
委員	岡元祐子	福祉産業
委員	山田耕一	社会福祉
委員	植田健治	社会福祉

役職	保護者氏名	学科名
委員	大西昭和	社会福祉
委員	中貝　太	介護福祉
委員	小林正信	介護福祉
委員	山田俊章	社会福祉
委員	渡辺敏幸	社会福祉
委員	有本隆俊	福祉産業
委員	多田和生	福祉心理

1年生担任・

－質問内容－

1．氏　名
2．クラス
3．専門（担当教科）
4．サークル名
5．趣味・特技
6．好きな言葉

1．豊山　大和
2．a
3．社会福祉援助技術論Ⅰ
社会福祉原論
4．バドミントンサークル
5．ガーデニング・野山の散策
6．真実一路

1．橋本喜代美
2．b
3．在宅福祉サービス論
老人福祉論
4．ボランティア21
社会福祉問題研究会
5．読書・旅行
特技：さをり織り
6．一期一会

1．内　　慶瑞
2．c
3．地域福祉論・ボランティア論
4．ソフトテニス
5．YAHOOオークションでのお買い得品の購入
6．「木を見て森を観る」「実践の科学化」2つの言葉ともソーシャルワーカーの基本だと考えています。

1．井土　睦雄
2．d
3．実習指導演習
4．スマート
5．作詩・歌・スポーツ全般
6．雑巾は他の汚れを一生懸命拭いて自分の汚れにまみれている。

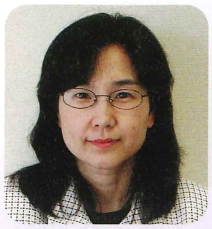
1．豊山　恵子
2．e
3．家政科概論・家政学実習
5．音楽鑑賞・読書・散歩
6．お陽様と感謝

1．曳木　久美
2．e
3．介護技術演習
5．華道・旅行・水泳
6．全力投球

1．澤田　丞司
2．f
3．臨床心理学
5．絵画・ゴルフ
6．他者に送る贈り物として“理解”ほど高価な贈り物はない。

1．元永　恵子
2．f
3．家政学実習
4．ダンスサークル
料理サークル
5．琴
三味線（最近はしていませんが）
6．信頼

副担任



1．小野　尚香
2．g
3．保健衛生学　他
5．絵画・書道

1．山路　博文
2．k
3．社会保障論・精神保健福祉論
4．文芸雑誌サークル
5．アジア放浪・映画鑑賞
6．七転び八起き

1．片山　義章
2．g
3．医療福祉論・医療保険制度
　化学
5．ゴルフ・釣りなど
6．志高清遠・愛信怒

1．室井　みや
2．k
3．心理学
5．体を動かすこと
　テニス・スキー
6．失敗は成功の元

1．和田　典子
2．h
3．日本語・文学・保育
5．読書・映画鑑賞
6．上善は水の如し

1．川下　維信
2．L
3．カウンセリング論
　老人の心理　他
4．バレーボールサークル
5．旅行・魚釣り
6．一期一会

1．岡本　孝信
2．h
3．保健体育
4．球技サークル
5．ダンス（ロッキング）
6．俺の前に道はない、俺の後ろ
　に道はできる。

1．柴原　直樹
2．L
3．心理学
5．車・ジョギング・旅
　映画鑑賞
6．温故知新

1．三宮　敦生
2．k
3．心理学
4．劇団くらぶ
5．読書・旅行
6．現在に生きる

1．石井　恒夫
2．L
3．心理学・マルチメディア演習
4．グリーンプロジェクト
5．読書・散歩・コーヒー
6．和して同せず

本学第１期生の８割が医療・福祉分野への進出と今後の課題

就職部長
小　西　博　喜

本学では、2004年3月卒業生（第1期生）470人の就職情況をまとめた結果、就職活動をした392人のうち、就職者は389人（3月31日現在）、就職率99．2％とまずまず順調なすべり出しができました。

就職先の内訳は、▼医療・福祉施設＝273人、▼福祉・医療関係企業＝50人、▼一般企業＝53人、▼公務員＝6人、▼その他＝6人となりました。医療・福祉関係の仕事が約83％を占めています。

また、医療・福祉関係の主な就職先は、▼老人福祉施設（特別養護老人ホームなど）＝66人、▼知的障害者援護施設（知的障害者更生施設）＝25人など。職種は、ソーシャルワーカーや生活相談員に採用されるケースが大半でありました。なお、就職活動をしなかった学生の進路は、▼大学院や専門学校へ進学＝18人、▼フリーター＝63人などとなっています。

全体的な傾向としては、景気がハッキリ見えない不況の中、学生諸君は知名度不足、先輩も皆無の不利や、大学側の未経験な状況であったにもかかわらず、予想以上の健闘を示したことを特筆しなければなりません。

就職先は福祉施設をはじめ、昨今の高齢社会やノーマライゼーションへの関心を反映して、製造・メーカー、サービス、流通、公務員など、あらゆる分野にわたっています。

全学的には福祉施設約8割、その他の企業約2割となり、介護福祉学科は福祉施設、福祉産業学科はメーカーや企業が多い傾向となっています。特にこの結果については、大学教職員が主に近畿地区を中心に西日本地域にわたる福祉施設、一般企業、事業所関係へ春・夏・冬季休暇を利用して直接足を運び就職訪問を行いました。

この組織的な支援活動が今回の実績に教育的成果として実証されたものと確信しています。ここに、そのご苦労に対して深く感謝申し上げる次第です。

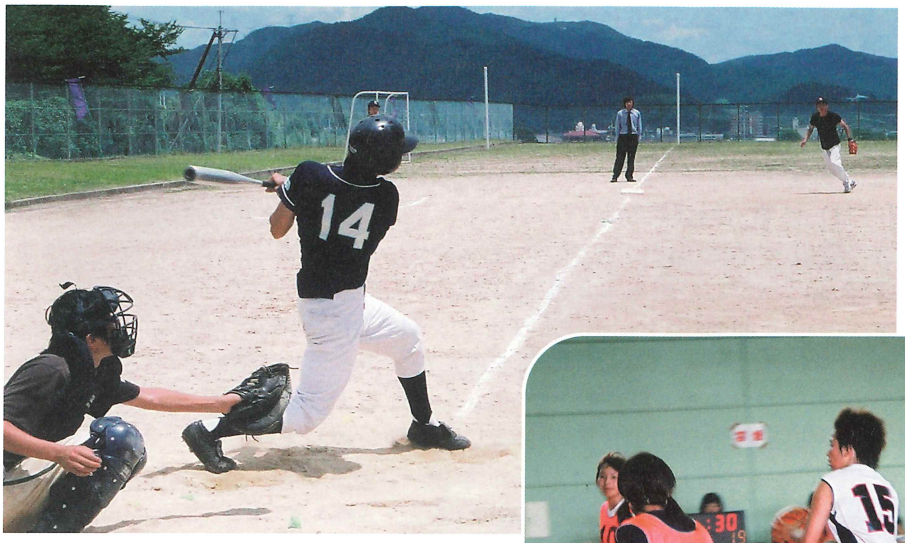
また、基本的な活動としては、家庭と就職部との連携をより密接に維持するため、種々の文書を通じて保護者への協力を要請しました。すなわち、大学、家庭、学生の三者の相互関係を密にして円滑に取り運ぶことを力点に置き、学科別の特性とまた、本人の興味、関心事について、それぞれの目標達成値を目指し努力したことが評価できると思います。さらに、学内に於ては、1年次から卒業後の進路についての就職ガイダンスや各種専門講座を設置するなど、就職進路指導に関する助言指導を徹底し、学生に対する就職の動機づけを積極的に指導してきました。その上で、自分自身の将来ビジョンを構築しつつ、4年間という期間内で就職に有利な資格取得を優先した指導を行い、必要科目の履修、各種開設講座の受講などを計画的に実践したことが大きな要因であるといえます。

さらに、基本的な課題として、学生諸君が「職業観」「勤労観」について考えることは、人生設計の自己実現、自己開発をしていく極めて重要な第1歩であります。すなわち、「大学存在意義は何であるのか」その存在価値を把握した上で、「何故就職するのか」将来「自分は何をしたいのか」「本当に地域社会から期待される大学になっているのか」など総合的な価値判断の評価が必要であります。そのためにも、学生自身の考え方、自らが行動する主体的、自主的な姿勢が重要であり、大学教育の中で職業意識を養成するキャリア教育と導入の充実に力を入れなければなりません。

平成16年度以降においてもこの方針を維持するための目標達成に向けて、より質的向上を目指す課題も明確になってきたといえます。

今後、本学の教育方針の基本的理念として、低年次から就職支援活動と教職員あげての個別指導の充実および年次卒業生就職先への密接なフォローアップについて、具体的にどのような取り組みをしていくべきか、就職指導のあり方が今後の大きな発展のカギになると考えます。

第11回白鷺杯争奪姫友戦



総合成績は準優勝
種目別では
☆剣道（男子）
☆軟式野球
☆卓球
☆女子バレーボール
☆女子硬式テニス
が優勝しました。

第５回播彩祭（ばんざいさん）によせて

播彩祭実行委員会
久保田　牧　土

初めまして、私は第５回播彩祭実行委員会、委員長の久保田牧土です。毎年後援会の皆様には、播彩祭開催にあたりご協力頂きありがとうございます。
本年度は、10月23日（土）24日（日）に第５回播彩祭が行われます。「播彩祭」の名前の由来は、播州地方を彩るという意味です。毎年、本学学生や地域住民の方々の交流の場として、地域社会に彩を添えてきました。本年度も、これまで以上の彩を添えることが出来るように日々、準備に力を注いでいます。
本年度の播彩祭のテーマは、「gazing at a moment」に決定しました。日本語に訳すと、「時間への想い」と言う意味です。一瞬一瞬にこだわりを持って、すばらしい時間をみんなで造っていきたいという気持ちを込めました。４年間という短い大学生活で、大きな意味を持つイベントとなるよう播彩祭を盛り上げていくつもりです。そのためにも、本年度も後援会の皆様のご協力をよろしくお願い致します。

▼サークル勧誘風景

▲第一期生卒業記念樹

お便りコーナー

事務局では会員の皆様からの『もっとこういうことが知りたい』などのご意見、お便りをお待ちしております。またインターネットや携帯電話をご利用のうえ下記E-mailアドレスに送信いただいても結構です。どうぞよろしくお願いします。

訃　報

開学当初からご尽力いただきました、佐竹 利文　助教授（福祉産業学科 享年52歳）が平成16年4月10日急逝されました。謹んでお悔やみ申し上げます。

発行日：2004年8月20日
発　行：近畿福祉大学後援会
事務局　学生部
〒679-2217　兵庫県神崎郡福崎町高岡1966-5
TEL（0790）22－2528
FAX（0790）22－6941
E-mail:gakuseibu@kinwu.ac.jp